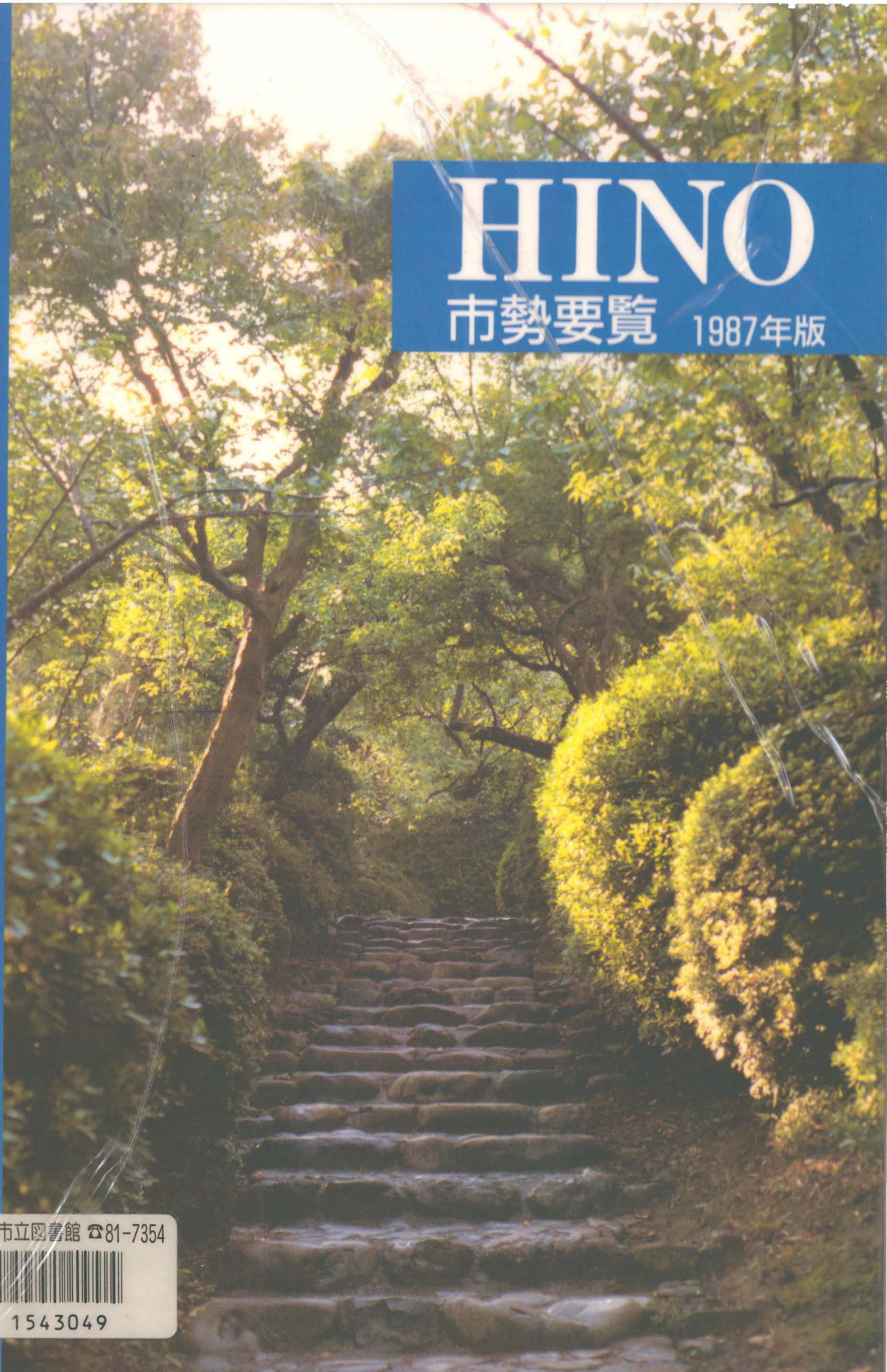




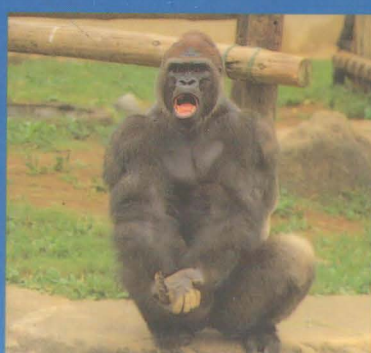
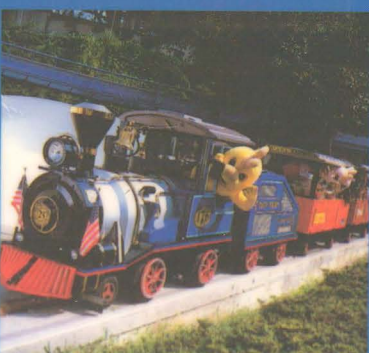
HINO

市勢要覧 1987年版

日野市立図書館 ☎81-7354



1543049



きのうと今日を積み重ねると、明日の日野市が、



日野市民憲章 昭和58年1月1日制定

わたしたち日野市民は、多摩川・浅川につづく平野と丘陵の自然環境に恵まれたこのまちを、生活の中のふるさとと考え、みんなのしあわせのためにこの市民憲章を定めます。

- 1 元気に働き、いきいきとして
心豊かなまちをつくりましょう。
- 1 手をつなぎ、ともに健康で
明るいまちをつくりましょう。
- 1 自然を守り、緑と清流と太陽の
美しいまちをつくりましょう。
- 1 人を大切にし、弱い人にも子供にも
思いやりのあるまちをつくりましょう。
- 1 文化をつちかい、うるおいのある
平和なまちをつくりましょう。





見えてくる。

日野市市勢要覧●目次

発刊によせて————— 1

プロローグ————— 3

第1章●生きる喜びを創り出す健康と福祉のまち 5

老人福祉

障害者福祉

保健・医療

第2章●豊かな人間性を育てる教育と文化のまち 9

学校教育

文化・スポーツ活動

第3章●自然と調和する安全で快適なまち 13

市街地整備

自然環境の保全

住環境整備

防災・交通安全

第4章●活気ある産業と豊かな暮らしのまち 19

産業の振興

観光・文化財

第5章●参加と連帯でつくる市民自治のまち 23

行政とコミュニティ

市議会

年中行事————— 27

日野の歴史————— 29

ガイドマップ————— 31

資料編————— 33

母なる自然、北に多摩川、中央に流れる浅川の水系、標高100mの丘陵地には、いまなお武蔵野のおもかげが残り、遠景には富士山や丹沢の山並みも一望にのぞめます。

昭和初期までの田園社会から昭和30年代にかけて工業都市へ変貌した日野は、昭和34年の多摩平公団住宅の開発を契機に、都心に近い良環境の住宅都市として発展を続けています。昭和38年には市制を施行、いま都市計画を着々とすすめ、自然と人間との調和を基調とする「緑と文化の市民都市」をめざしています。

昭和61年、市の人口は15万6千人、世帯数5万7千と年を追って成長する日野を、いつまでも心安まるふるさととして愛することできるように、新しいまちづくりをすすめています。

昭和62年1月

日野市長

森田喜美男

1543049

まちは生きている。
自然が、文化が、生活が、
うるおいの中でひとつに溶けあっていく。



近年、住民の間で定住志向が高まってきています。これは、社会情勢の変化とともに、市民の生活意識や価値観の変化の表れであり、自らの住むまちをよりよい方向へ進めようとする、まちづくりのエネルギーがひしひしと感じられます。

そんな市民の期待にこたえるため、日野市はめざす都市像を「緑と文化の市民都市」としました。つまり、自然環境を守り、健康な生活と健全な社会環境をつくる「緑と清流と太陽の都市」であり、教育・文化・スポーツ活動を進める「文化とうるおいの都市」です。日野市をわがまち、ふるさとして築く「人間尊重、自治、参加、連

帯の都市」のことです。

これを実現するために、5本の柱に沿った行政を進めています。第1に、「生きる喜びを創り出す健康と福祉のまちづくり」、第2に、「豊かな人間性を育てる教育と文化のまちづくり」、第3に、「自然と調和する安全快適なまちづくり」、第4に、「活気ある産業と豊かな消費のまちづくり」、第5に、「参加と連帯でつくる市民自治のまちづくり」。

幸せな暮らしを願う市民の気持ちにこたえ、市も絶えず前進を続けます。



心と心がかよいあう、

幸福のステージづくり。

笑顔はみんなのものだから。



どんな生活像を持つ人でも、
同じ地域に生きる仲間として、
共に生きようとする考え方
——これこそ、福祉の原点です。
多くの心ある市民の活動とともに、
日野市は核家族化の進行や、
人口の高齢化にみられる家族像の変化にともない、
地域社会の持つ社会連帯の機能を生かした
保健・福祉体制を進めています。

また、勤労者福祉など、時代の要請を受けて、
施策の対象はさらに広がりつつあります。
福祉や保健の施策が、
まず何よりも社会的に弱い立場にある人々を
対象にすることは当然ですが、
今後は市民のニーズに合わせて
全住民を対象としたきめ細かな福祉・保健施策へと
発展させていきたいと思ひます。

新たな人生へ。 生きがいづくりがスタートライン。

● 老人福祉

年をとることは、自分の時間を取り戻すことです。長年にわたる子育て、勤労から開放されたお年寄りには、新しい生きがいとともにこれからの人生を心ゆくまで満喫していただきたいものです。

高齢者教養講座「かしの木学級」はそんな願いをこめて運営されているお年寄りのいこいの場です。多くの元気なお年寄りが、陶芸・俳句から社交ダンスまで、幅広い趣味を楽しんでいます。

また、高齢者事業団や各種の奉仕活動など、積極的な社会参加も応援しています。もちろん、老人ホームや宿泊施設「老人いこいの家かしの木荘」、寝たきりのお年寄りのための訪問看護、おむつ配布や入浴サービス、理美容の無料券配布、そして一人暮らしのお年寄りのためのホームヘルパーや福祉電話、老人給食なども充実。

お年寄りにとって、これらの施策に増して何よりうれしいのは、周囲の人々の温かい思いやり。地域ぐるみで、人生の先輩をやさしく見守りましょう。



老人余暇運動

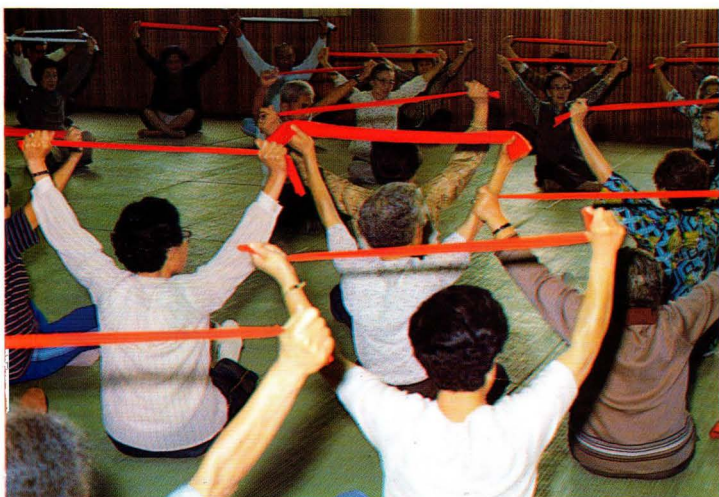
日野市老人憲章 昭和57年1月1日制定

日野市民は、すすんで老人を理解し、老人の生きがいある日常生活を保障するため、次のとおり老人憲章を定める。

- 1 老人は、長く社会につとめた先輩として、
ひろく市民から敬愛される。
- 2 老人は、家庭と社会の大切な一員として、
手厚く遇される。
- 3 老人は、家庭と社会から、
健康と明るいくらしが守られる。
- 4 老人は、経験や能力を社会に役立てるよう、
その機会が設けられる。
- 5 老人は、健康と生きがいをつくるため、
社会参加の道が開かれる。



ゲートボール大会



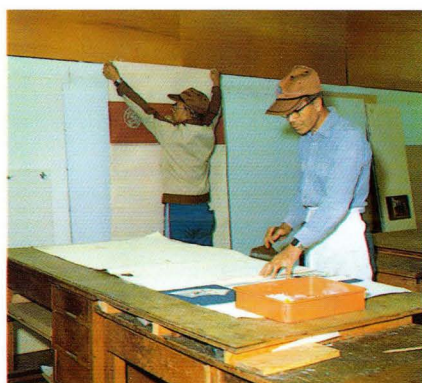
ことぶき大学



福祉大会



老人いこいの家「かしの木荘」



高齢者事業団「ふすま張り」

豊かな心のふれあいで、 共にはばたき、共に暮らす。

● 障害者福祉

心身にハンディキャップを持つ人が、健康な人々と同じようにイキイキと暮らせるようなまちこそ、本当に人間らしい住みよいまちといえます。

日野市では、障害者の社会参加と平等を実現するために、各種相談、機能回復訓練・レクリエーションなどの設備を整えた身体障害者福祉センター「つばさ学園」をはじめとして、心身障害者（児）福祉手当、日常生活用具の給付・貸付、ホームヘルパー制度などを進めてきました。「はくちょう学園」も1987年3月完成にむけて、ただいま建設中です。

その他、黄色いハンカチ配布、手書き電話、身体障害者専用開業資金融資、福祉タクシーなど、きめ細かな援護施策にも力を入れています。

しかし、何より大切なのは、障害者が障害の形や本人の意志に応じた自立をめざすことができるような、周囲の人々の温かい思いやりです。そんな市民の幅広い理解と協力が、今後の施策の創造的発展につながっていくことでしょう。



福祉まつり



つばさ学園での籐かごづくり



日野市社会福祉協議会による相談



希望の家



つばさ学園

健康が幸福の基本だから。 まず予防、そして治療。

保健・医療 ●



予防接種



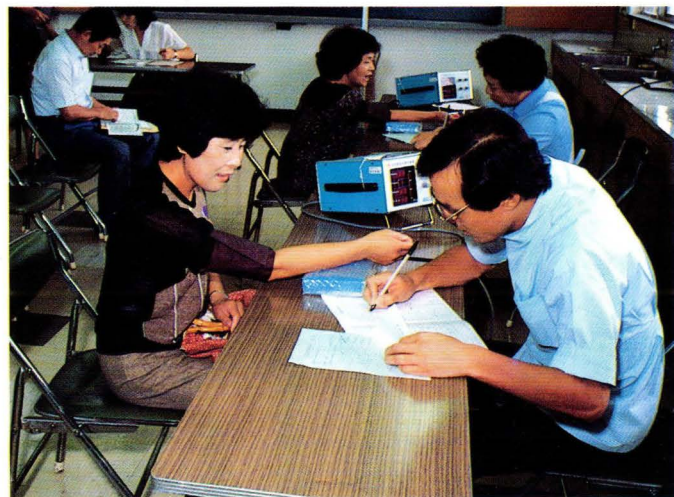
市立総合病院

健やかな暮らしは、すべての人間の願いです。市民の健康と衛生的な生活を守るために、日野市も最大限の努力をはらっています。

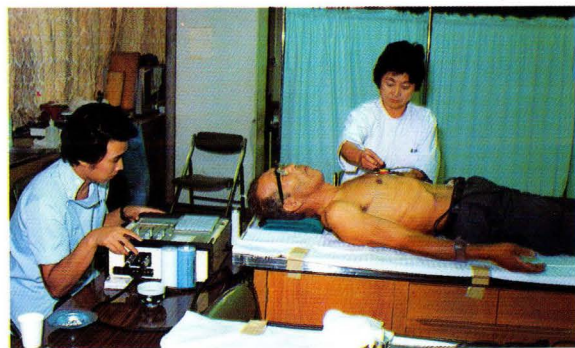
地域医療の中核的な役割をめざした市立総合病院(162床)はCTスキャナーを導入し、障害者のための歯科診療の充実をはかるとともに、3ヵ所の救急病院、休日準夜診療所を定めて、市民の要請にこたえてきました。

また、三種混合をはじめ、はしかなどの予防接種を行い、年齢・性別により結核健康診断、子宮ガン検診、胃の集団検診、住民健康診断、老人健康診査などを実施しています。東京都の定める特殊疾病の方には、難病手当も支給しています。

定期的に気軽に体をチェックして、明るくヘルシーに暮らしたいですね。

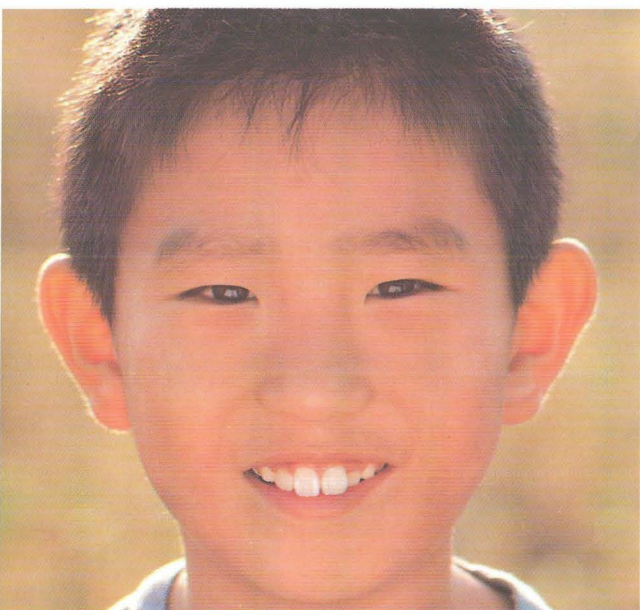


検診風景



検診風景

心と身体が豊かになると、
さらに充実した
新しい文化の創造がはじまる。



人はまちの宝。そして、人をつくるのは自由でのびやかな教育と文化です。生涯学習の考えが急速に広がり、定着しつつある今、日野市では、幼児教育・学校教育・青年教育・成人教育・高齢者教育など、各年代における教育を、誰もが分けへだてなく受けられるように体制を整備し、教育基本法に精神にそって、絶えず内容を豊かにすることを目標としています。

また、地域の文化活動は、スポーツや芸術鑑賞をも含む幅広い分野にわたっていますが、あくまでも市民の手による自主的な創造活動を基本としています。

めぐまれた環境の中、 健やかに育つ子供たち。

●学校教育

社会環境や家族制度の変化によって、児童・青少年をとりまく生活環境は不安定な状態になりつつあります。家庭・学校・地域社会の三者はますます結びつきを深めなくてはなりません。

日野市では、たとえば、すべての子供が各々の生活事情に応じた保育・教育を受けられるよう、制度と内容の発展をはかったり、教育条件の質的向上や、都立高校の誘致など教育機会の拡大、確保をめざしています。幼児教育センターでは、幼稚園と保育園の一元化をめざしています。

現在、市立の教育施設は、幼稚園7、小学校20、中学校8となっており、幼稚園を除けば、小・中学校いずれも校舎は鉄筋化率100%、大小プール、屋内体育館など、よく整備されています。移動教室、音楽鑑賞教室など校外教育も充実し、心身ともに健康な社会人となるよう、力を注いでいます。

その他、教育、文化の高さを象徴するように、現在、3大学がキャンパスを開き、学園都市としても注目されています。



運動会



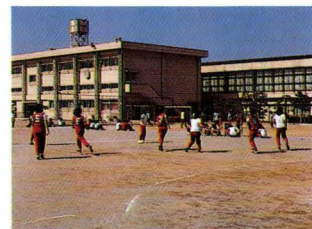
運動会



授業風景



第七幼稚園



都立日野高校



都立日野台高校



都立南平高校



中学校の給食風景



夏休みキャンプ



科学技術大学



実践女子大学



明星大学

地域に根ざした文化の拠点。 うるおい豊かな都市をめざして。

●文化・スポーツ活動

市民の自主的な自己学習、心と心のふれあう相互啓発を基盤とする社会教育や文化活動、スポーツ活動は、学校教育と並ぶ重要なテーマです。

日野市は地域社会ならではのつながりを強め、その発展のための諸条件整備を進めています。高齢者や障害者の経験や知識も十分生かされるように配慮しています。

昭和60年に完成した市民会館をはじめ、48万冊の蔵書と貸出し数96万冊を誇る中央図書館と7つの分館、音楽会や演劇など催しの活発な七生公会堂、スポーツ施設として親しまれている南平体育館や市民プール、そして市の林間施設、山梨県の「大成荘」などは幅広く利用されています。また、陸上競技やサッカーもできる市ではじめての総合運動場「(仮称)市民の森スポーツ公園」も建設中です。

そのほか、市内にはバラエティーに富んだ文化団体・サークルも数多くあり、中央公民館では各種講座や学級などを開設し、市民の生涯学習、仲間づくりに努めています。



市民オーケストラ練習風景



市民ギャラリー



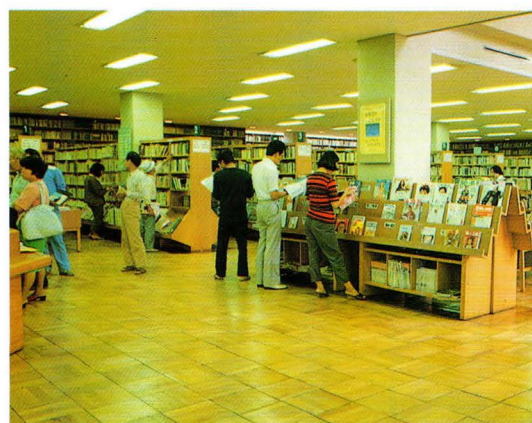
市民ロードレース大会



市民プール



木工さんによる日曜木工教室



中央図書館



キャンプ村



市民文化祭



アーチェリー大会



市民会館



勤労青年会館

緑と清流を基調としながら、

より快適な住空間の

確立をめざして。

快適性の追求をテーマに進めら 計画的なまちづくり。

● 市街地整備

緑と清流、都市景観を重視し、誰もが快適に暮らせるように、市街地計画も地域の性格や発展の度合いに応じて進めています。

開発に当たっては、宅地の細分化を防ぎ、居住環境の整備をともなわないミニ開発を抑制しています。区画整理事業が「住みよいまちづくり」を実現する有効な手段のひとつであると考え、さまざまな形で推進してきました。

また、道路は、都市計画道路などの幹線道路を骨格として道路網の編成が進んでいます。都市計画道路の路線は、国道、市道を含めて25本で、その総延長は57,577mあり、現在、この計画達成率は37%となっています。

東京都からは、多摩地域における南北交通の整備計画が発表され、都市モノレールという新交通システムも実現されます。



都市計画道路

北に多摩川、中央に浅川、
そして武蔵野のおもかげを残す多摩丘陵。
遠く富士山や丹沢の山並みも一望にのぞめる日野は、
緑と清流の自然に恵まれたまちです。

昭和34年、多摩平公団住宅の開発を契機に、
都心に近い良環境の住宅都市として発展を続け、
昭和38年に市制施行以来、
種々の事業計画を着々と進め、
自然と人との調和を基調とした、
緑と文化の市民都市をめざしてきました。
今後とも、より安全、快適な住みよいまちにするために、
道路、公園、上下水道などの都市施設を充実させ、
未来を見すえた魅力的なまちづくりを、
市民の皆さんと一緒に進めたいと思います。

れる、



区画整理の完了した神明地区



豊田駅前



平山下耕地土地区画整理事業区域

豊かな緑と清流が、 いつも心をなごませしてくれる。

● 自然環境の保全

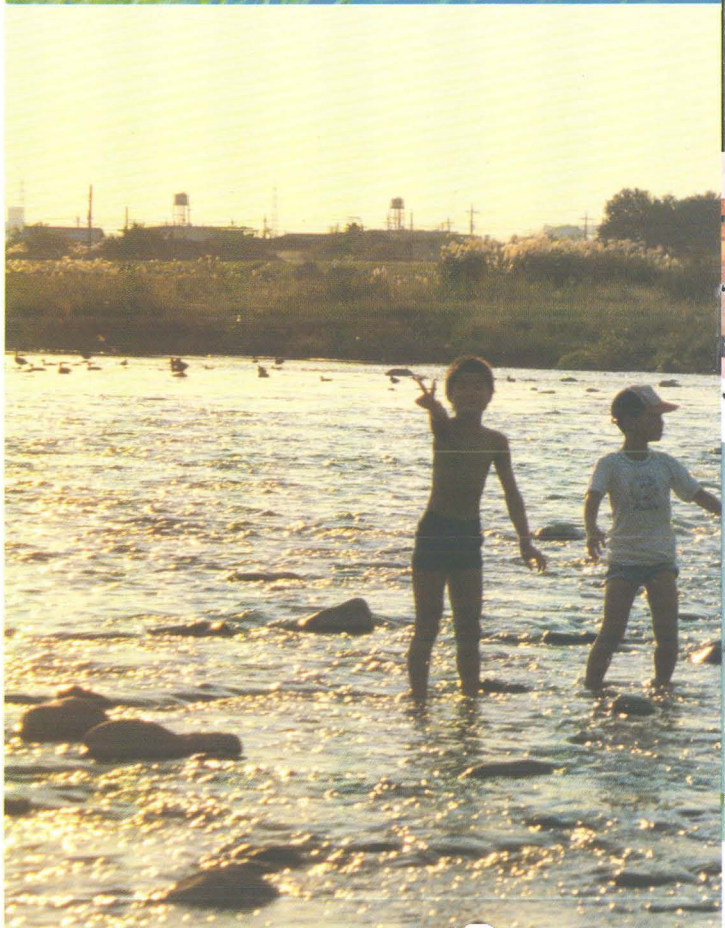
人にやすらぎを与え、活力を生み出す自然は、市民共有の財産です。緑と清流を保全し、公園建設を進めることは、市民のいこい・レクリエーションの場としてはもちろん、災害時の避難場所の確保のうえからも重要です。

日野市では、多摩川、浅川、多摩丘陵をはじめ、日野緑地、公園、農地、並木までを包みこんだ都市親水公園の整備を進めています。特に、市の中央を流れる浅川を、市民の出会いの場とする広域親水自然公園計画や、環境緑化協会（仮称）の設立なども推進中です。

しかし、住環境の緑化は市民の積極的な参加による家庭緑化、地域緑化への努力が大切です。苗木・菊の配布や、植物・動物ガイドブックの発刊など、自然と親しむ基盤をつくるとともに、地域緑化、地域清掃、コイの放流など、市民との連帯によって大切な自然を守ろうと呼びかけています。また、清流監視指導員によるパトロールも行っています。



コイの放流

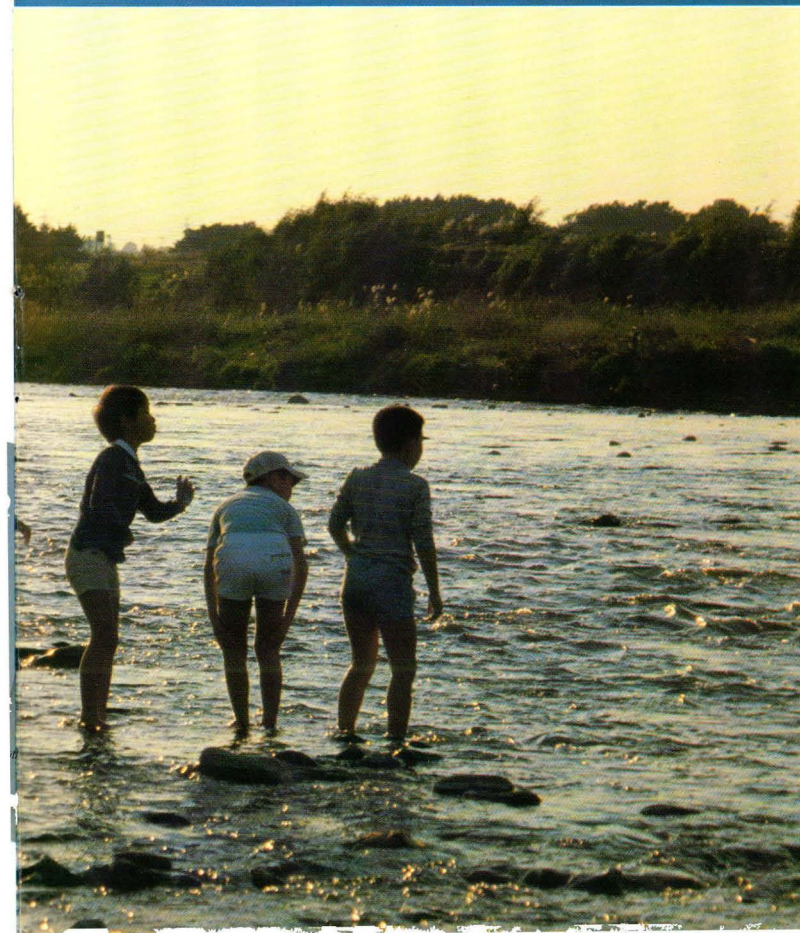




苗木の無料配布



多摩川クリーン作戦



美化都市宣言 昭和38年3月30日議決

日野町を和と愛の精神をもって自然と文化を調和した美しい「美化都市」とすることを宣言する。

浅川の河原で遊ぶ子供たち

より快適に、より便利に。 住みやすいまちへ。

● 住環境整備



日野市クリーンセンター

ゆとりある緑の空間に、近代的な設備を備えた住宅に暮らしたい。より快適に、より便利に、“住まい”の意識も変化してきました。

そんな時代のニーズにこたえるように、宅地開発に対する公共的な指導や建築協定などにより、良質な住宅の建築をうながしています。現在、約400世帯が住んでいる市営住宅の建て替えなども、この計画の一環として、積極的に進めています。

また、水道施設の整備も、快適な住環境に欠かせません。現在、普及率96%を超える上水道は、市全域を公営水道にすることを目標とし、今後の水需要の増加に対して100%こたえられる給水体制を整えます。下水道は、「日野市下水道事業基本計画」にもとづき、昭和70年を目標に計画を進めています。

そのほか、ゴミ処理施設の整備、改善を進めるほか、資源再利用、ゴミ減量のために、市民とともに地域ぐるみで取り組んでいきたいと思っています。発電設備をもったクリーンセンターは1日に110tのゴミを処理する炉を2基備え、自動化による省エネ対策も十分に講じられています。

また、日野市高齢者事業団による資源の再利用を目的とした「リサイクル事務所」は、市民に好評を博しています。



下水道埋設工事



浄水場コントロール室

日ごろの意識の向上が、安全への最短距離。

防災・交通安全 ●

安全で、安心して暮らせるまちづくりにはふだんから災害や危険に備えての細かい心づかいが大切です。

地域防災計画の内容をたえず改善し、強化するとともに、避難場所、施設の整備をはかっています。水害対策としては、河川改修を進め、がけ崩れなど危険箇所の防災に取り組み、下水道の促進とあわせて総合的な治水対策を進めています。万一の場合に備えて防災訓練も行っています。

また、交通安全のための施策も進んでいます。交通安全講習会など安全指導はもちろん、人間優先の道路づくりを進め、安全施設の整備の充実にも力を注いでいます。駅周辺などの自転車利用をめぐる問題は、市民と協力しあって、置き場の確保、放置自転車の規制を行い、自転車使用のルールを市民生活の中に確立していきたいと考えます。



廃品回収



リサイクル



地域清掃



らくがき消し



消火訓練



交通安全教室

恵まれた地域特性を
生かして発展するまち。
さらに大きな前進をめざして。

ハイテク産業から農業まで。 時代に対応した施策で活気あるまち

● 産業の振興

市民の消費生活を支える農・工・商業。都市化が進むにつれ、時代に合わせてそれぞれの発展が望まれています。

戦前・戦後の大工場の進出に続き、その下請的存在である小規模工場の多い工業については、大企業と中小企業の協力関係を強め、共同技術開発システムなどによって、公害のない工業としての近代化を進めています。

商業については、既存の大商業地域の物まねでなく、独自の魅力を持った商店街の育成を基本とし、市内交通網の整備による商業圏拡大や、都市デザインの思考を取り入れた商店街の建設などを計画しています。

また、都市農業は、消費者の要望を的確につかんで作物の選択や技術開発を進めたいと思います。



恵まれた自然環境と、都心に近い地理的条件。
日野の住宅地の開発・拡充は大幅に進み、
住宅都市としての傾向が定着しつつあります。

また、かつて豊かな水田で
米作を誇った農業中心のまちから、
企業の進出により工業都市へ、
産業も都市化にともない、
急激な変貌を見せています。
高度な技術導入や採算性など、
数々の課題を抱えながら、近代化をめざす農業。
地域性を生かした魅力あるまちづくりを進める商業。
そして、自然に対する思いやりとまちの活気をはかる工業。
今、それぞれが大きな転換期を迎え、
市民の豊かな暮らしのバックアップの
方向を模索しています。



園芸農家



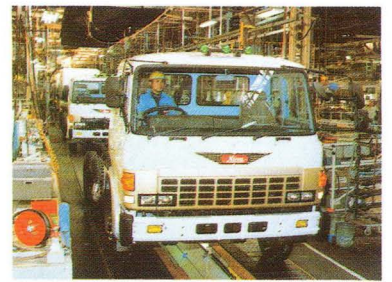
鉄工所



ち並みを。



高幡不動駅前通り商店街



日野自動車工業



富士電機東京工場



小西六写真工業日野工場



東芝日野工場



ファナック



産業まつり



雪印乳業日野工場



NBC工業



オリент時計



日本特殊農薬製造農業研究所

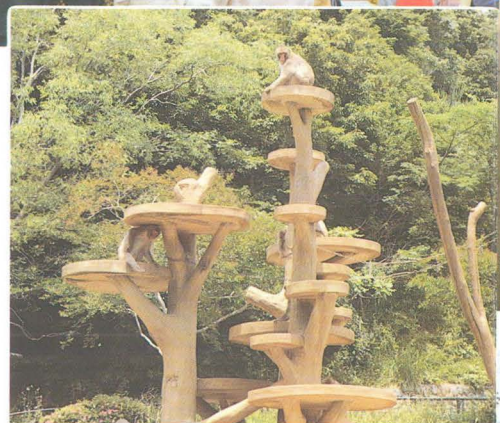
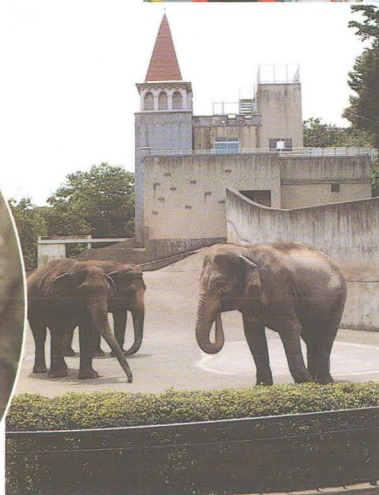
歴史と自然が調和した、 魅力の観光都市。

● 観光・文化財

多くの文化財や豊かな自然に恵まれた日野。市内には、高幡不動尊をはじめ、歴史的な名所・旧跡があり、自然を生かした多摩動物公園や、百草園・平山城址をふくむ多摩丘陵の緑、多摩川・浅川などは市民の貴重な財産としていつまでも残したいものです。

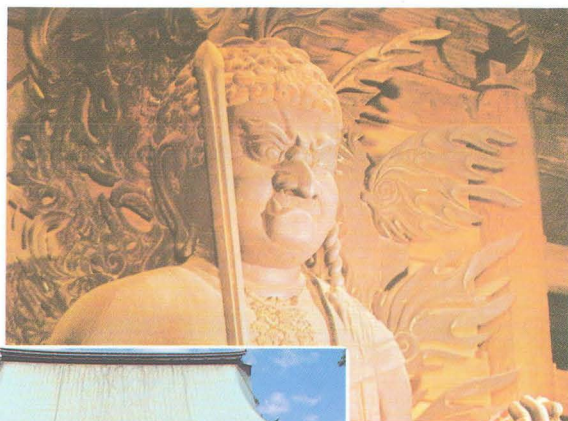
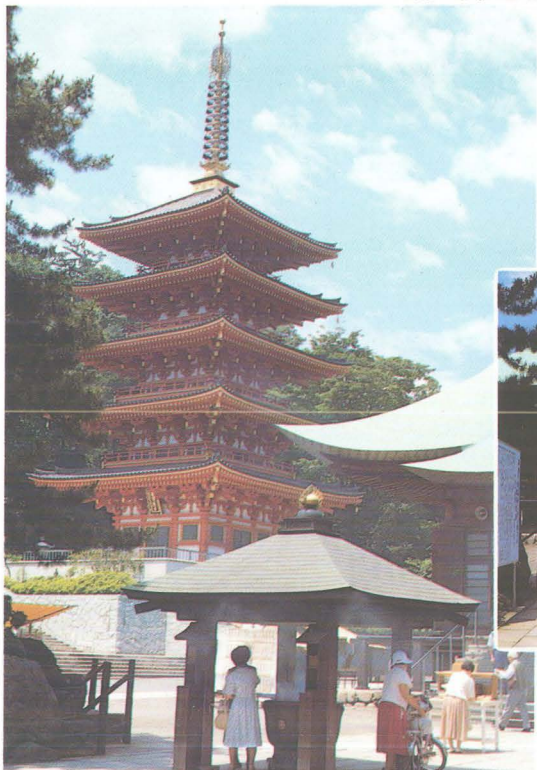
これからの観光は、文化財施策とも結びつけて、歴史的な観光資源を生かし、自然と調和した観光ルート、散策コースの開発を進めたいと思います。

また、長年行われてきた伝統ある祭りや行事も、市民の協力を得て受け継ぎ、価値ある観光資源として発展させていくつもりです。内外から多数の参観者を呼び、にぎわい・ふれあいのあるまちに育てていきたいものですね。



多摩動物公園の動物たち

高幡不動尊五重塔



不動明王像



不動尊



鳴り竜



多摩テック



黒川清流公園



牧水歌碑



芭蕉句碑



石田寺の石仏



土方歳三の碑



東光寺薬師堂



八坂神社

人がまちを育て、まちが人を育てる。
市民の参加こそが
市政の理想と考えて。

一人ひとりの意見をもとに、ふれあいのまちづくり。

● 行政とコミュニティ

日野市の主権者は日野市民。社会生活の変化に応じた市民参加のシステムを生み出し、市民の誰もが気軽に行政にかかわれることが大切です。

日野市は、市民と市長の対話集会、市長相談、市民相談、そして市の将来像や環境問題などさまざまな講義を受けられる市民自治学園などを用意して、市民とのコミュニケーションをはかっています。

また、行政資料や市の刊行物などが豊富にそろえられた市政図書室の活動を充実させ、広報・広聴活動を質・量ともに発展させることにより、誰もが豊かな情報を持ち、まちづくりをめぐる積極的な討論と実践がおこるように工夫しています。

地域社会でのコミュニティ活動は、市民相互の人間的なふれあいの場であるとともに、まちづくりのエネルギーといえる市民組織づくりに力を発揮しています。婦人団体の自主活動や文化活動に利用される婦人センターも好評です。



日野市の目標とする都市像「緑と文化の市民都市」とそれにもとづく5本の柱を実現するために、行政の態勢を整えるとともに、理解ある市民の協力を得ることが必要です。

その推進体制の充実と、市民参加の積極的な取り入れに、今後もますます力を入れていくつもりです。市から市民へ向けて常にメッセージを送り、市政を理解してもらうこと。そして、それに対する市民一人ひとりの声をくみとり、暮らしの隅々にまで心の行き届いたサービスにつとめること。そうやって、市民も、市も、お互いに成長していけるのではないのでしょうか。市民の立場に立ち、市民とともに歩む行政。これこそ、日野市の理想です。



自治学園





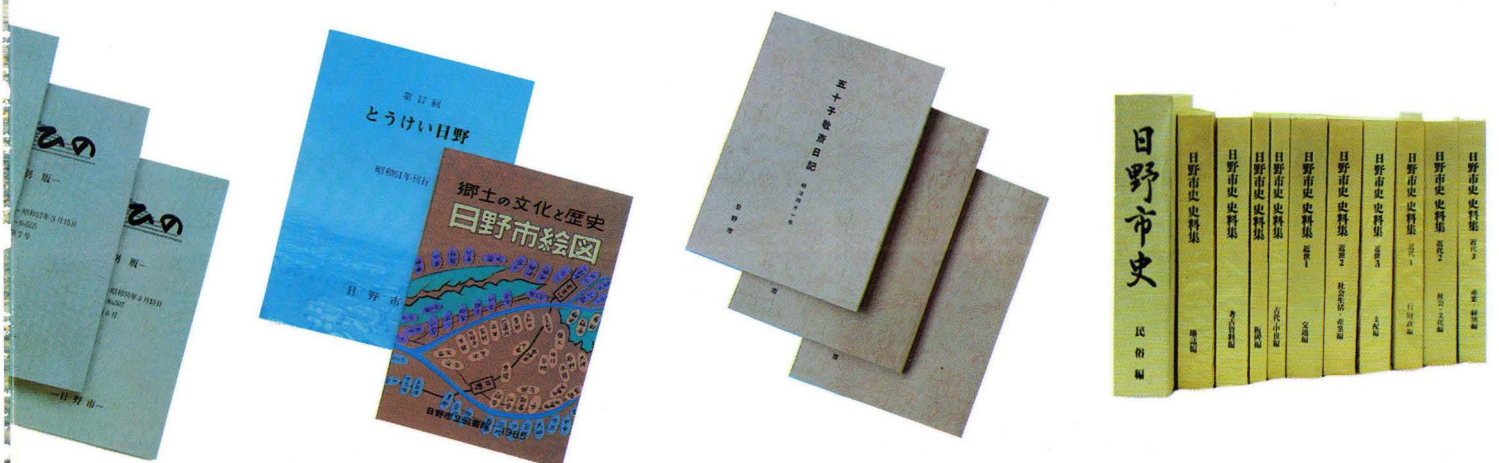
日野市庁舎



憲法記念行事



市長相談



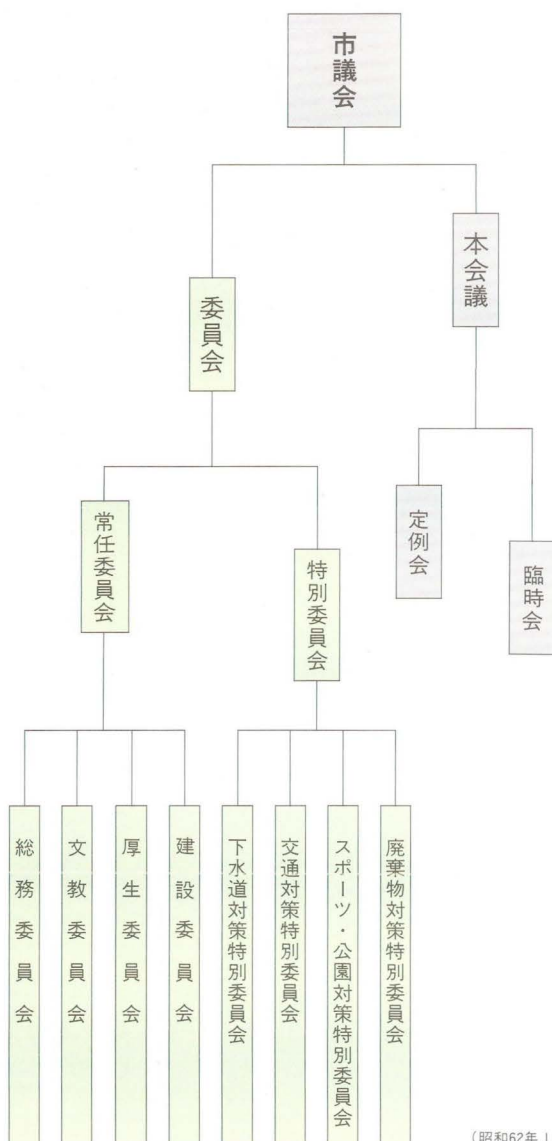
理想の都市をめざして、共に歩んでいきたい。

●市議会

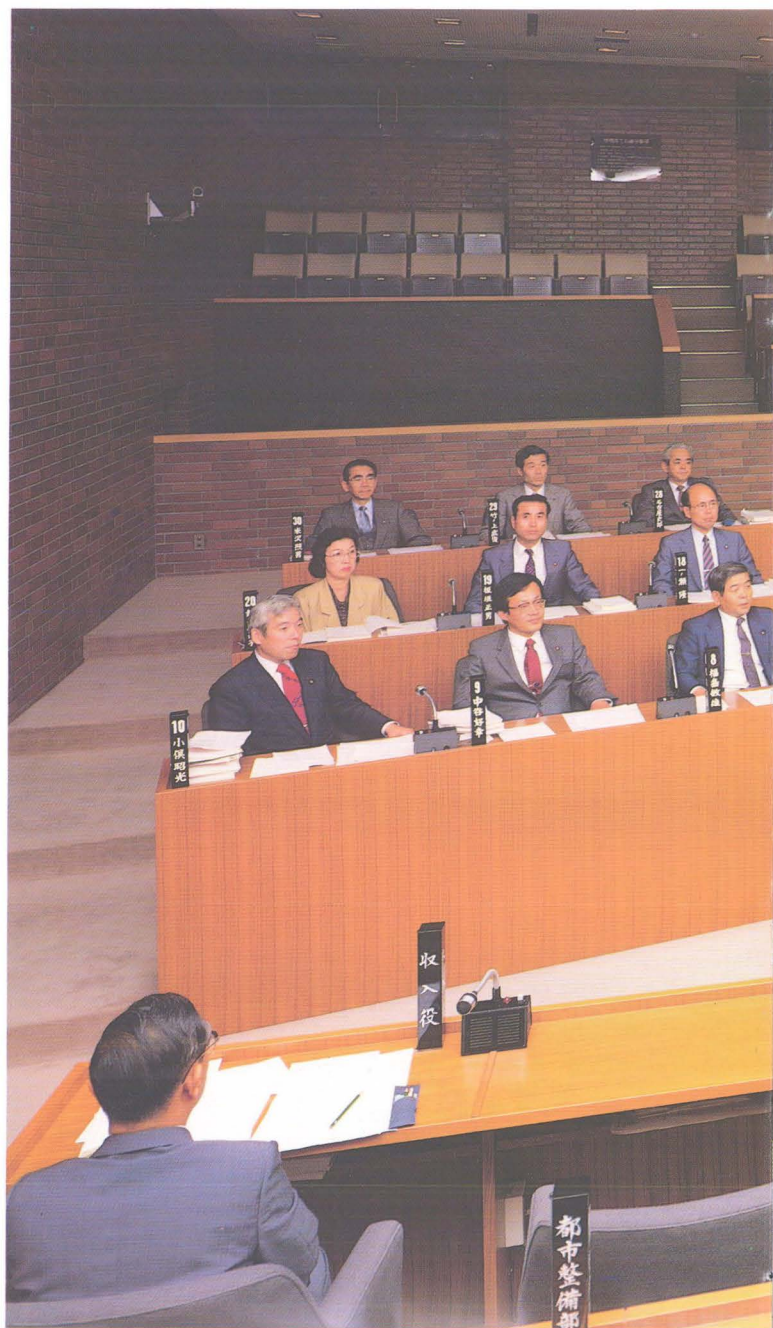
市議会は、市民の意見や要望を代表して市の方針を決定する機関です。日野市議会は、現在30人の議員で構成され、年4回の定例会と必要に応じて開かれる臨時会では、①市の必要な条例を制定したり、改廃したりする ②市の予算を議決したり、決算を承認したりする ③市の行政に関する調査や監査の請求をする ④住民からの請願や陳情を受理する ⑤選挙管理委員を選んだり、市長の各種任命に同意を与えたりする仕事を担っています。

また、議員はそれぞれ行政部門ごとに、総務、厚生、文教、建設の4つの常任委員会に所属し、さらに必要に応じて特別委員会が設けられ、専門的な審議及び調査を行います。

議会で決められた方針にもとづいて市の政治を行うのが執行機関で、市長を中心にその代表的補助機関として助役、収入役があります。このほか、4つの行政委員会があり、多くの職員が市民生活向上のために努力しています。



(昭和62年1月1日現在)



黒川議長



中山副議長



本会議開催中の議場にて(昭和61年10月第3回定例会議会)

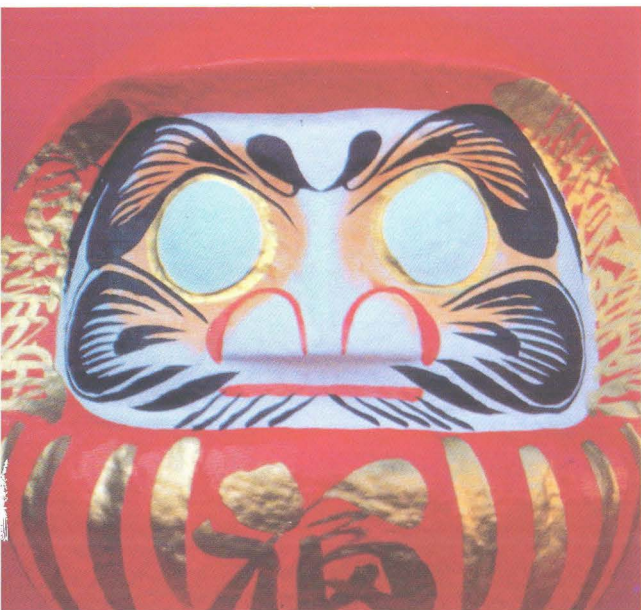
日野市議会議員氏名

議席番号	氏名	所属委員会名	会派別
1	奥住 日出男	厚生, 廃棄物	市民クラブ
2	宮沢 清子	文教, 交通	公明党
3	高橋 徹	厚生, 交通	自由市民会議
4	土方 尚功	総務, スポーツ・公園	"
5	山口 達夫	文教, 廃棄物	"
6	天野 輝男	文教, 交通	"
7	福島 盛之助	建設, 下水道	"
8	福島 敏雄	建設, 議会運営, 交通	革新クラブ
9	中谷 好幸	文教, 下水道	日本共産党
10	小俣 昭光	厚生, 議会運営, 廃棄物	"
11	川嶋 博	建設, 議会運営, 下水道	市民クラブ
12	馬場 繁夫	総務, 議会運営, 下水道	公明党
13	夏井 明男	建設, スポーツ・公園	"
14	小山 良悟	総務, 廃棄物	自由市民会議
15	馬場 弘融	建設, 議会運営, スポーツ・公園	"

議席番号	氏名	所属委員会名	会派別
16	高橋 徳次	厚生, 下水道	自由市民会議
17	旗野 行雄	文教, 交通	"
18	一ノ瀬 隆	文教, スポーツ・公園	革新クラブ
19	板垣 正男	文教, 交通	日本共産党
20	鈴木 美奈子	厚生, 廃棄物	"
21	中山 基昭	総務, 議会運営	市民クラブ
22	秦 正一	厚生, 廃棄物	公明党
23	黒川 重憲	総務, 議会運営	"
24	古賀 俊昭	総務, 議会運営, 下水道	自由市民会議
25	谷 長一	建設, スポーツ・公園	"
26	市川 資信	文教, 議会運営, 交通	"
27	石坂 勝雄	厚生, 廃棄物	"
28	名古屋 史郎	総務, 下水道	革新クラブ
29	竹ノ上 武俊	建設, スポーツ・公園	日本共産党
30	米沢 照男	総務, 議会運営, スポーツ・公園	"

(昭和61年3月現在)

伝統の祭りから
新鮮なイベントまで。
四季を彩るふれあいのステージ。



歴史と自然の息づく日野では、四季折々の風物として、素朴で楽しいお祭りや行事がくり広げられます。ちょっと挙げてみても、1月の初不動・だるま市、どんど焼き、2月から3月の梅まつり、9月の秋まつり、市民福祉まつり、10月の市民健康マラソン、市民文化祭、11月の産業まつりなど、盛りだくさん。これらのイベントが、毎年、順調に行われるのも、地元の人々の心意気と、祭りを楽しみに見守る多くの人々の郷土愛に支えられてのことでしょう。

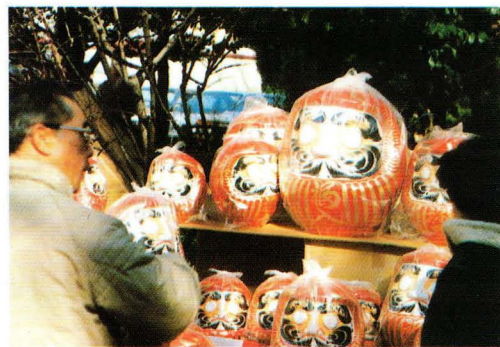
この市民同士の心の通い合いを大切に、日野市の行事を年々、盛りあげていきたいものです。





八坂神社例祭

- 1月15日 成人式・どんど焼き
- 1月28日 高幡不動尊の初不動祭
- 2月下旬 梅まつり(百草園)
- 4月上旬 家庭緑化の日
- 5月3日 憲法記念行事
- 6月上旬 市民自治学園開講
- 7月中旬 市民プール開設
〃駒形の渡し、運行
- 8月上旬 伝統漁法の公開
- 8月下旬 総合防災訓練
- 9月上旬 敬老大会
- 9月中旬 秋まつり
- 9月下旬 市民福祉まつり
- 10月上旬 市民健康マラソン
青年フェスティバル・動物まつり
水路清流週間
- 10月下旬 市民体育大会
市民文化祭
- 11月3日 日野市表彰式・家庭緑化の日
- 11月中旬 産業まつり



たるま市



菊まつり



どんど焼

時代と共に、自然と共に

歩み続ける日野市。



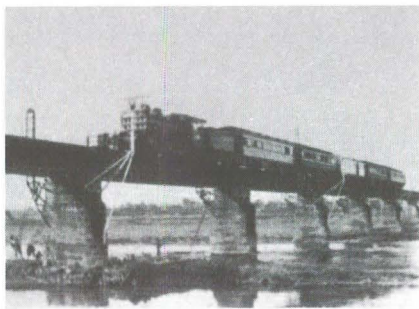
アメリカ・レッドランズ市と姉妹都市提携 昭和38年



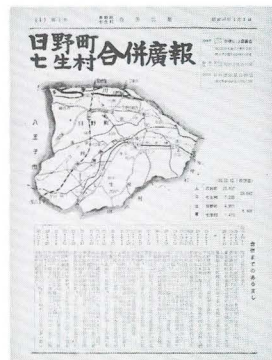
市制施行記念ハレード 昭和38年



七ツ塚古墳群



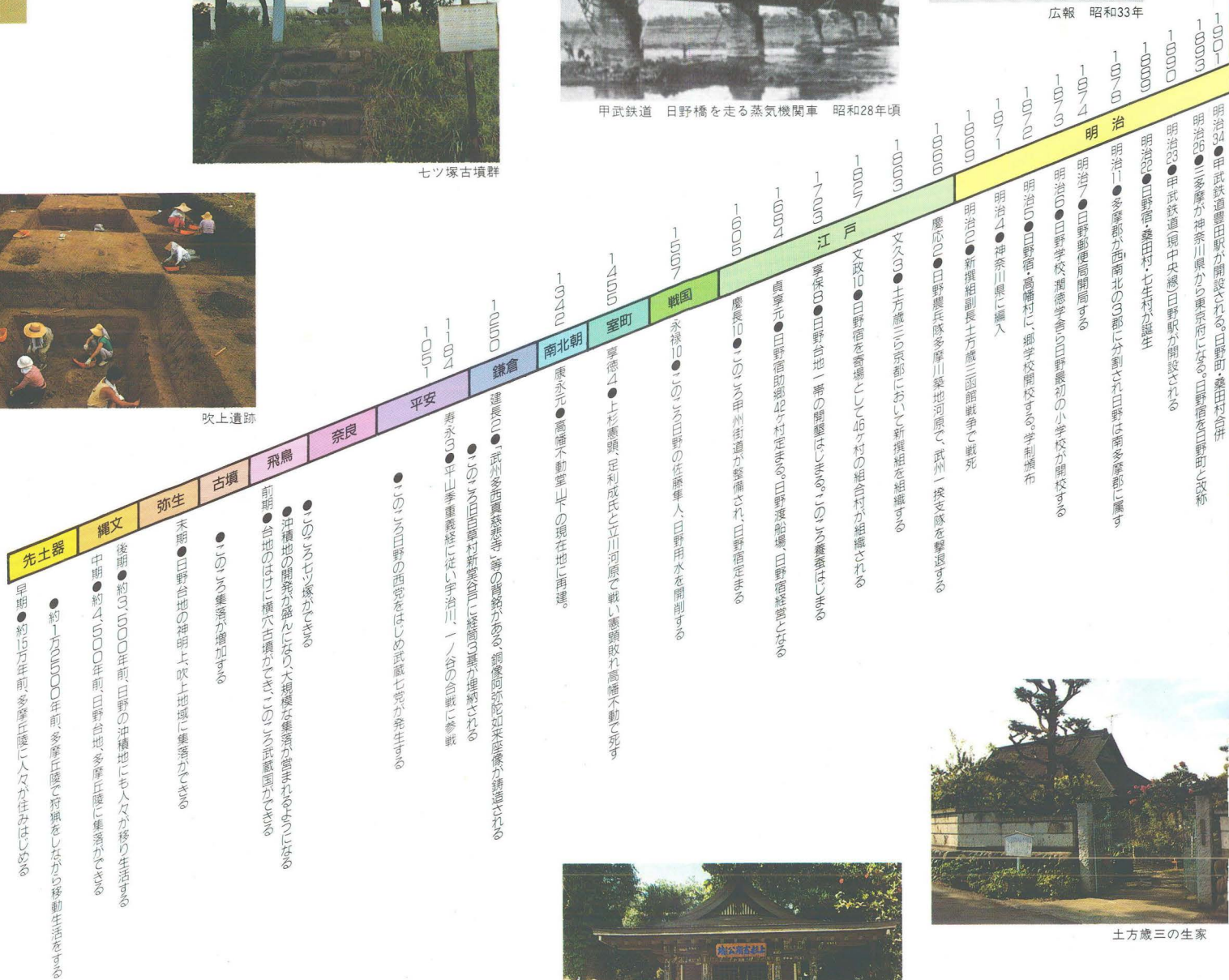
甲武鉄道 日野橋を走る蒸気機関車 昭和28年頃



広報 昭和33年



吹上遺跡

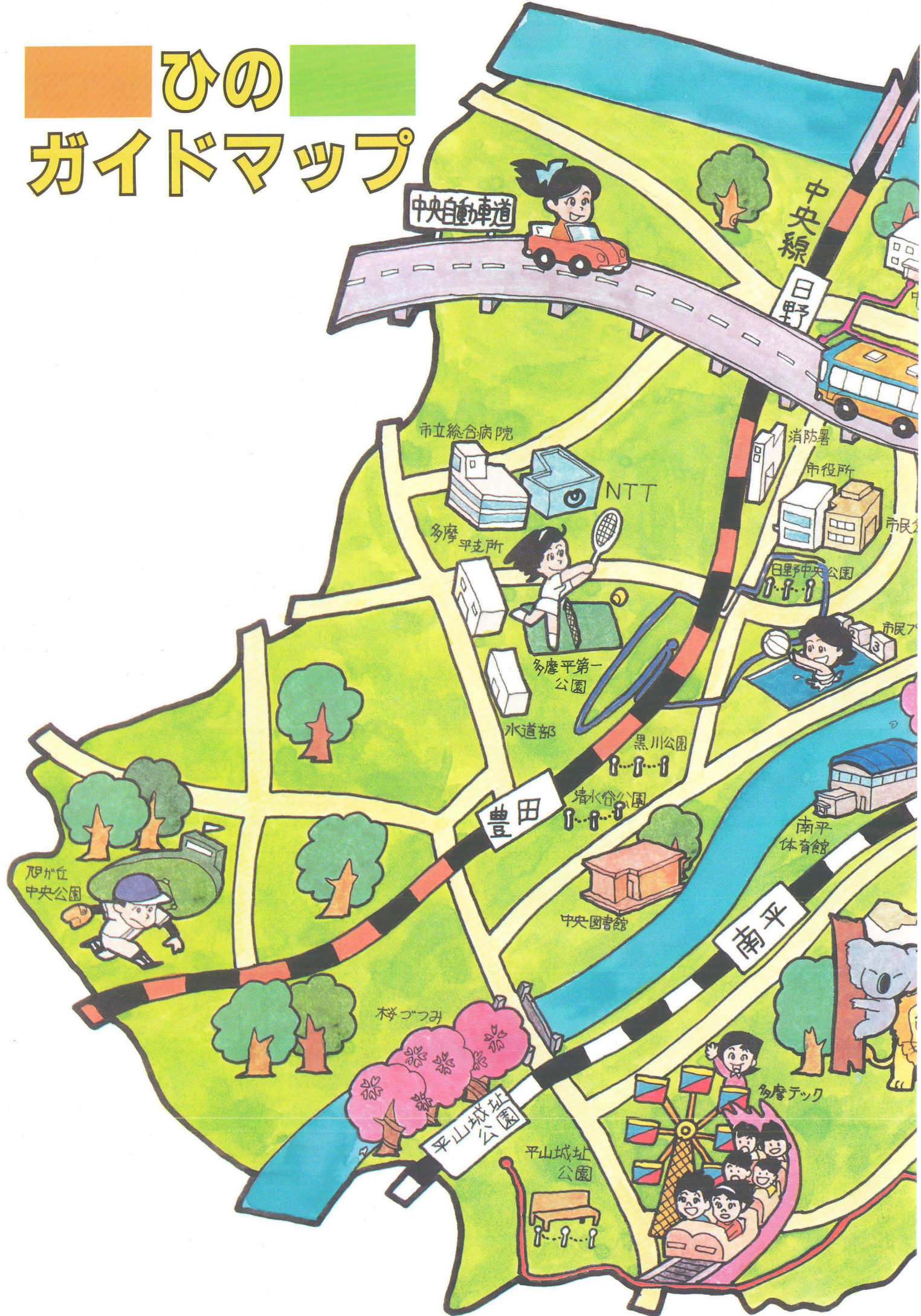


土方歳三の生家



上杉憲顕の墓

ひの ガイドマップ



七生丘陵西散策コース(約4km)

黒川段丘崖散策コース(約4km)

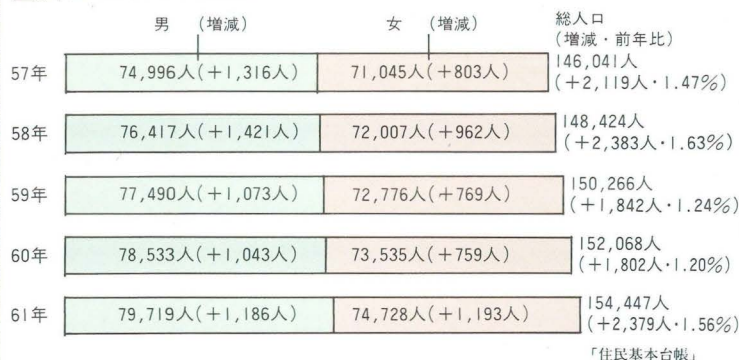
七生丘陵東散策コース(約5km)

郷土史探訪コース(約6km)

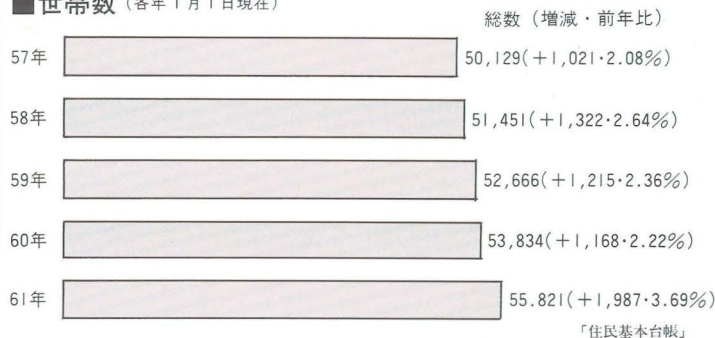
32

人口

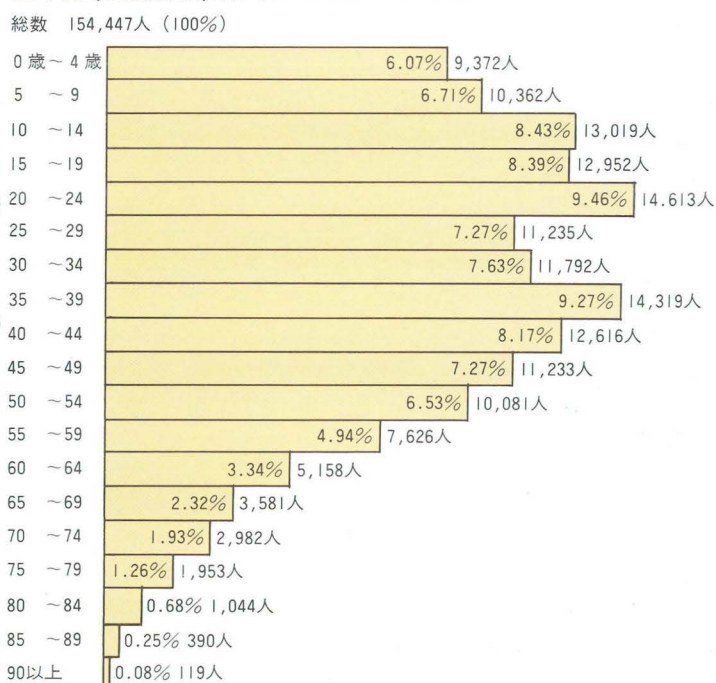
■人口（各年1月1日現在）



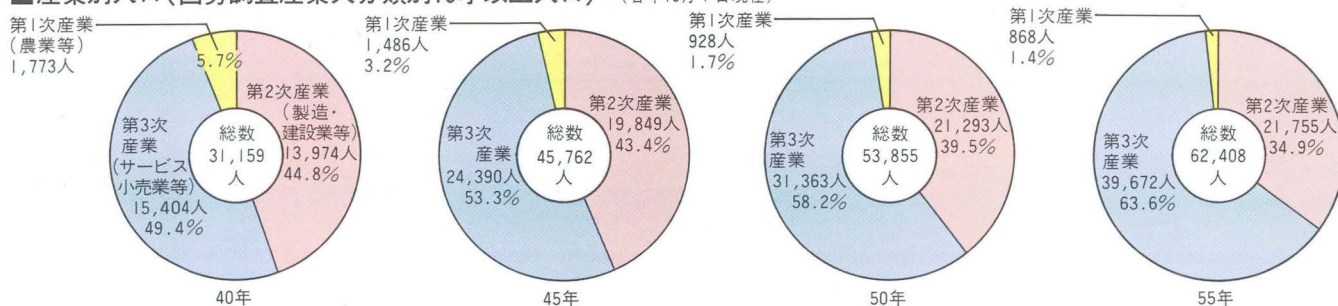
■世帯数（各年1月1日現在）



■年齢(5歳階級)別人口（昭和61年1月1日現在）



■産業別人口(国勢調査産業大分類15才以上人口)（各年10月1日現在）



■人口の社会増・自然増（各年1月1日～12月31日）

(単位=人)

年	増加総数	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
56年	2,256	2,069	523	1,546	12,926	12,216	710
57年	2,318	2,121	557	1,564	12,380	11,626	754
58年	1,797	1,992	546	1,446	11,648	11,297	351
59年	1,794	1,988	566	1,422	11,897	11,525	372
60年	2,638	1,931	561	1,370	12,257	10,989	1,268

「住民基本台帳」

■国鉄・私鉄駅別1日当り乗降客数（各年度間累計）

(単位=人)

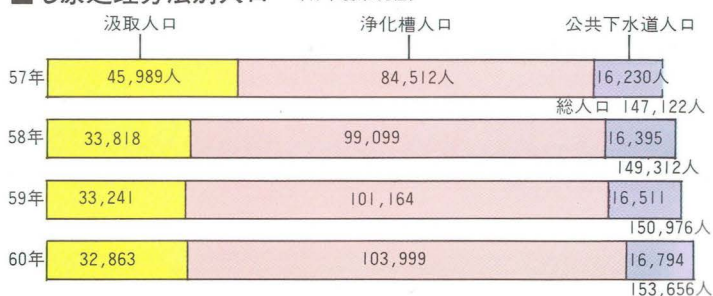
年度	乗降客別		中 央 線		京 王 線				
			日野	豊田	百草園	高幡不動	多摩公園	南平	平山城址公園
56	乗車人員	定期	14,619	19,236	1,849	14,195	15,658	2,751	4,652
		普通	4,836	6,723	1,455	6,540	3,205	1,504	1,912
	降車人員	定期	—	—	1,849	14,195	15,658	2,751	4,652
		普通	—	—	1,786	5,868	2,660	1,471	2,077
57	乗車人員	定期	14,219	19,794	1,808	14,246	15,079	2,814	4,682
		普通	5,156	6,961	1,512	6,773	3,246	1,580	2,019
	降車人員	定期	—	—	1,808	14,246	15,079	2,813	4,682
		普通	—	—	1,895	6,005	2,805	1,504	2,181
58	乗車人員	定期	14,371	19,677	1,797	14,463	14,748	2,932	4,745
		普通	5,465	7,323	1,493	6,789	3,093	1,663	2,132
	降車人員	定期	—	—	1,797	14,463	14,748	2,932	4,745
		普通	—	—	1,863	6,126	2,742	1,556	2,178
59	乗車人員	定期	14,463	20,710	1,751	14,660	14,553	3,121	4,537
		普通	5,515	7,389	1,545	6,838	3,389	1,707	2,104
	降車人員	定期	—	—	1,751	14,660	14,553	3,121	4,537
		普通	—	—	1,493	6,510	2,526	1,679	1,849

■昼間人口と夜間人口（国勢調査 各年10月1日現在）

昼・夜間人口差

年	昼間人口	夜間人口	昼・夜間人口差
30年	26,416人	27,305人	889人
35年	39,582	43,394	3,812
40年	62,342	67,979	5,637
45年	91,620	98,557	6,937
50年	114,269	126,847	12,578
55年	126,916	145,408	18,492

■し尿処理方法別人口（各年度末現在）



面積

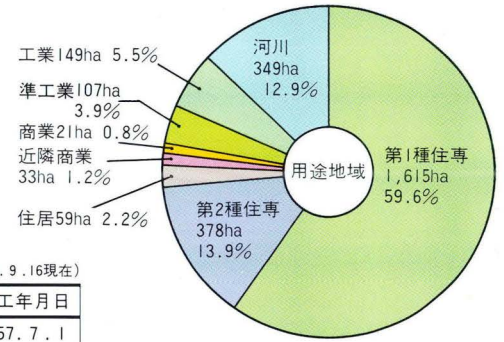
■地目別土地面積(各年1月1日現在)

(単位:㎡)

年	総数	田	畑	宅地	山林	その他
56	27,110,000	2,043,459	2,138,585	9,959,902	1,472,964	11,495,090
57	27,110,000	2,030,156	2,158,359	10,085,757	1,462,120	11,373,608
58	27,110,000	2,000,713	2,112,102	10,174,568	1,464,459	11,358,158
59	27,110,000	1,953,205	2,070,783	10,243,042	1,455,580	11,387,390
60	27,110,000	1,888,725	2,033,785	10,289,209	1,355,610	11,542,671

「固定資産概要調査」

■都市計画区域の用途地域別面積(昭和54年1月24日改正)



■町名地番整理実施状況

(昭61.9.16現在)

町名	面積(ha)	丁目数	施工年月日	町名	面積(ha)	丁目数	施工年月日	町名	面積(ha)	丁目数	施工年月日
多摩平	145.8	7	昭40.4.28 昭57.7.1	東平山	63.4	3	昭46.7.1	神明	61.6	4	昭57.7.1
日野台	89.8	5	昭43.11.15	西平山	113.9	5	昭46.7.1	大坂上	53.3	4	昭57.7.1
富士町	10.5	単独	昭43.11.15	豊田	95.2	4	昭47.7.1	落川・三沢	4.3	—	昭59.4.1
さくら町	12.0	単独	昭43.11.15	東豊田	83.6	4	昭47.7.1 昭57.7.1	平山四丁目	12.6	—	昭60.8.1
新町	73.3	5	昭45.7.1	旭が丘	128.0	6	昭48.7.15	程久保	199.2	8	昭61.7.1
栄町	152.0	5	昭45.7.1	南平	193.1	9	昭50.7.1				
平山	125.5	6	昭46.7.1 昭48.1.28 昭49.6.30	日野本町	116.9	7	昭57.7.1				

厚生

■市内の医療施設(各年12月末現在)

年	56年	57年	58年	59年	60年
病院	7	7	6	6	6
病院ベッド数	結核	—	—	—	—
	伝染	50	50	50	50
	精神	277	277	277	277
	普通	623	623	538	538
	老人(再掲)	—	—	282	282
診療所	有床	20	18	17	15
	無床	70	72	71	74
歯科診療所	有床	—	—	—	—
	無床	50	52	55	57
助産所	有床	—	—	—	—
	無床	4	4	4	4

■市立総合病院診療科別入院・外来人数(各年度間累計)

①入院(延人数)

(単位=人)

年度	総数	内	小児	外	整形外科	脳神経外	皮膚泌尿器	産婦人	眼	耳鼻咽喉	歯	占床率
58	45,750	12,562	5,878	6,617	12,406	—	2,160	5,730	395	2	—	77.6%
59	46,228	11,695	6,043	6,432	11,441	1,083	2,695	6,658	156	7	18	78.2%
60	47,447	9,511	5,876	8,571	9,815	3,047	3,396	6,758	372	—	101	80.2%

②外来(延人数)

(単位=人)

年度	総数	内	小児	外	整形外科	脳神経外	皮膚泌尿器	産婦人	眼	耳鼻咽喉	歯	1日平均
58	154,871	38,468	19,135	12,960	37,214	—	13,666	14,168	10,786	5,416	3,058	518
59	147,765	33,802	22,098	8,198	38,154	1,794	14,209	10,926	8,623	6,595	3,366	499
60	149,608	34,202	23,974	8,308	37,237	3,596	13,672	9,676	9,138	6,673	3,132	503

■公害苦情・陳情受付及び処理件数(各年度間累計)

年	受付件数	発生源別				現象別								処理件数
		工場	指作業場	特定建設業	その他	ばい煙	粉じん	有毒ガス	汚水	騒音	振動	悪臭	その他	
57	67	12	6	2	47	3	—	—	10	31	3	9	11	64
58	62	15	2	2	43	3	—	—	10	27	3	9	10	62
59	79	8	9	—	62	9	4	—	23	28	1	3	11	79
60	78	6	3	1	68	9	1	—	19	27	3	6	13	78

学校・児童館

■市立保育園(昭和60年4月1日現在)

(単位:人)

保 育 園 名	総 数	3 歳未満	3 歳以上
とよだ保育園	108	27	81
たかはた保育園	116	43	73
たまだいら保育園	127	28	99
ひらやま保育園	101	22	79
あらい保育園	60	13	47
みさわ保育園	99	26	73
たかはただい保育園	106	28	78
みなみだいら保育園	110	28	82
あさひがおか保育園	93	29	64
もぐさだ保育園	93	30	63
おおくぼ保育園	94	36	58
しんさかした保育園	77	26	51
管 外 保 育 園	9	3	6
合 計	1,193	339	854

■市立幼稚園(昭和61年5月1日現在)

(単位:人)

幼 稚 園 名	学 級 数	園 児 数
第一幼稚園	5	169
第二幼稚園	3	88
第三幼稚園	3	75
第四幼稚園	2	62
第五幼稚園	2	69
第六幼稚園	2	58
第七幼稚園	2	68
合 計	19	589

■市立小学校の学校別学級数(昭和60年5月1日現在)

(単位:人)

学 校 名	学 級 数	学 級 数	学 校 名	学 級 数
日野第一小学校	19 690	学級数 児童数	滝合小学校	24 922
日野第二小学校	24 965	学級数 児童数	高幡台小学校	17 642
日野第三小学校	22 744	学級数 児童数	日野第七小学校	19 727
日野第四小学校	17 607	学級数 児童数	南平小学校	19 707
日野第五小学校	22 865	学級数 児童数	程久保小学校	14 504
日野第六小学校	19 737	学級数 児童数	旭が丘小学校	20 823
潤徳小学校	15 548	学級数 児童数	平山台小学校	17 550
平山小学校	21 758	学級数 児童数	東光寺小学校	14 504
日野第八小学校	19 679	学級数 児童数	三沢台小学校	15 567
百草台小学校	18 648	学級数 児童数	仲田小学校	12 382
合 計		学級数 児童数		367 13,569

■学童保育所(学童クラブ)別学童数(昭和60年4月1日現在) (単位:人)

ク ラ ブ 名	児 童 数
ふ た ば	43
さ く ら 第 1	45
つ く し	19
さ く ら 第 2	50
も ぐ さ	41
た か は た だ い	53
じ ゅ ん と く	28
た き あ い	50
あ さ ひ が お か	50
た ん ぼ ぼ	21
ひ の だ い	34
四 小	38
八 小	32
二 小	50
東 光 寺 小	31
平 山 小	32
七 小	50
三 沢 台 小	27
合 計	694

■市立中学校の学校別学級数・生徒数(昭和60年5月1日現在) (単位:人)

学 校 名	学 級 数	学 級 数
日野第一中学校	20 870	学級数 生徒数
日野第二中学校	23 942	学級数 生徒数
七生中学校	20 796	学級数 生徒数
日野第三中学校	28 1,170	学級数 生徒数
日野第四中学校	22 925	学級数 生徒数
三沢中学校	22 888	学級数 生徒数
大坂上中学校	24 887	学級数 生徒数
平山中学校	22 912	学級数 生徒数
合 計	181 7,390	学級数 生徒数

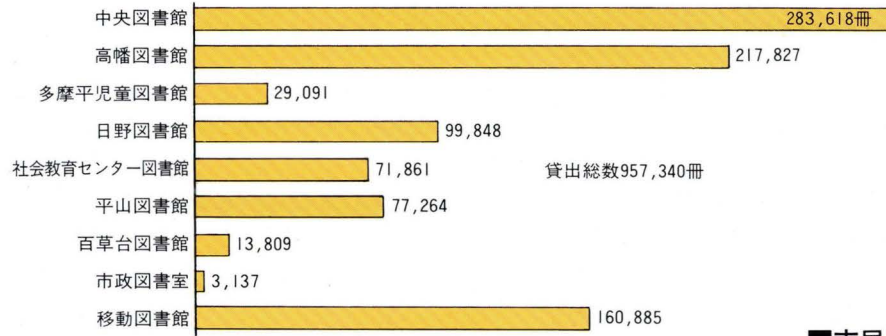
■市立児童館(昭和60年度)

(単位:人)

児 童 館 名	利 用 児 童 数
ひらやま児童館	24,360
もぐさだ児童館	19,496
ひの児童館	30,922
みさわ児童館	13,953
合 計	88,731

図書館・市民プール

■市立図書館図書貸出冊数(昭和60年度)



■市立図書館の視聴覚資料・機材貸出数

(昭和60年度)

レコード	8ミリフィルム	スライドフィルム	16ミリ映写機	8ミリ映写機	スライド映写機	スクリーン	暗幕
9,253	3	5	111	18	28	48	50

■市民プール利用人員(各年度間累計)

(単位:人)

年度	こども	おとな	総数
56年	33,764	11,298	45,062
57年	31,238	8,695	39,933
58年	34,195	11,017	45,212
59年	38,957	15,908	54,865
60年	35,581	15,158	50,739

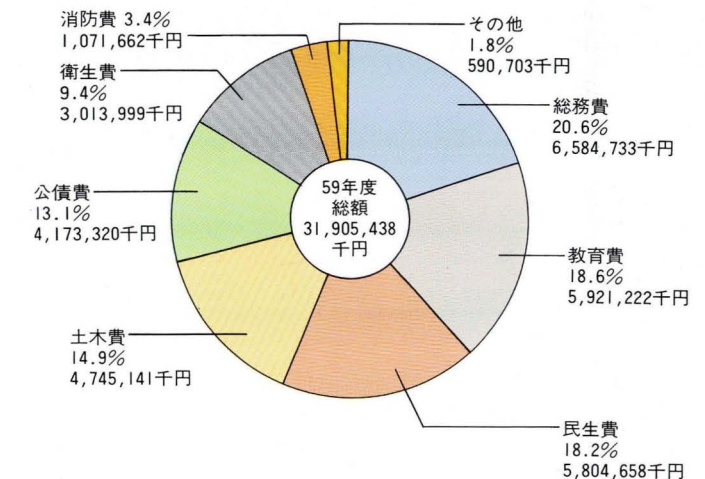
財政

■会計別決算額の推移(歳入)

(単位:千円)

区分	年度	57年度	58年度	59年度	60年度
一般会計		25,639,757	26,444,794	32,454,978	33,462,938
国民健康保険特別会計		2,623,619	2,607,983	2,792,980	3,107,231
土地区画整理事業特別会計		1,207,102	898,123	1,037,574	2,414,887
下水道事業特別会計		907,034	1,340,810	1,550,720	1,847,864
市立総合病院事業特別会計		1,879,946	2,012,261	2,103,835	2,481,981
受託水道事業特別会計		1,133,649	1,043,223	1,085,699	1,196,226
農業共済事業特別会計		17,949	18,295	22,123	19,598

■普通会計決算額の推移(目的別歳出)



■市税の推移

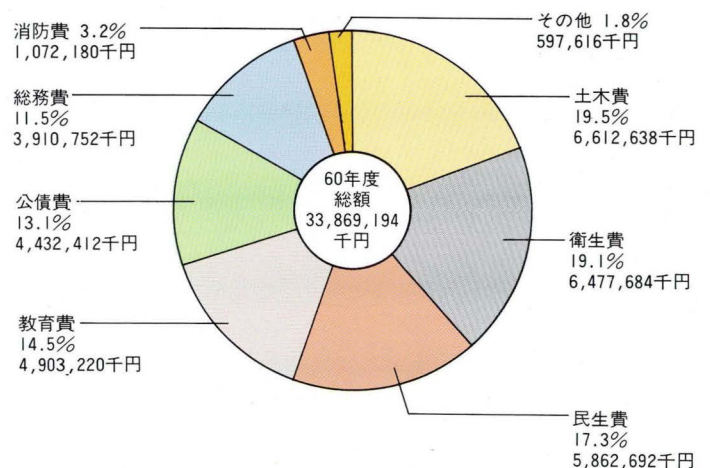
(単位:千円)

区分	年度	59年度		60年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
総額		19,488,164	100%	20,472,173	100%
市民税		12,482,229	64.0	12,852,262	62.8
固定資産税		4,732,603	24.3	5,174,094	25.3
軽自動車税		43,802	0.2	47,716	0.2
市たばこ消費税		564,208	2.9	578,219	2.8
電気税		498,283	2.6	538,318	2.6
ガス税		18,249	0.1	17,525	0.1
特別土地保有税		4,927	0.0	2,986	0.0
都市計画税		1,143,859	5.9	1,261,053	6.2

■財政力諸指標

(単位:千円)

区分	年度	57年度	58年度	59年度	60年度
基準財政需要額		10,236,575	10,667,623	11,035,648	12,063,883
基準財政収入額		11,807,407	12,304,942	13,024,229	14,427,819
標準財政規模		15,679,583	16,335,355	17,295,911	19,168,816
財政力指数		1.09	1.11	1.16	1.18
実質収支比率%		7.6	5.3	6.6	4.5
公債費比率%		11.8	13.3	11.3	10.5
積立金現在高		5,543,692	5,984,165	5,970,093	6,388,256
地方債現在高		20,076,412	23,094,636	24,266,491	24,921,421



27.11 km ² 日野市総面積 24.4 km ² 人口集中地区(DID)	4.71 km ² 市街化調整区域	22.40 km ² 市街化区域	154,447 人 人口 (61年1月1日)	5,697 人/km ² 人口密度 (61年1月1日)
55,821 世帯 世帯 (61年1月1日)	2.77 人 1世帯当り人員 (61年1月1日)	33.0 歳 平均年齢 (61年1月1日)	32.5 歳 年齢中位数 (61年1月1日)	5.3 人 出生 (60年)
1.5 人 死亡 (60年)	33.6 人 転入 (60年)	30.1 人 転出 (60年)	2.7 組 結婚 (60年)	0.4 組 離婚 (60年)
2,150 人 保育園児 (60年度)	2,717 人 幼稚園児 (60年度)	13,569 人 小学生 (60年度)	7,390 人 中学生 (60年度)	816 人 小・中学校教員 (60年度)
484,154 冊 図書館蔵書冊数 (61年3月)	565,946 MWH 電気使用量 (60年度)	316 工場 工場数 (60年12月)	1,237 店 卸売・小売業 (60年5月)	301 L 水道供給量 (60年度)
740 g 1人当り1日 ゴミ (60年度)	1.9 世帯に 1 台 乗用車 (58年度)	538 床 一般病床 (60年12月)	122 人 常勤医師(59年) 112 人 非常勤医師(59年)	94 人 歯科医師 (59年)
56,569 台 電話 (60年度末)	1.9 件 1日 交通事故 (60年)	4.4 件 1日 犯罪 (60年)	0.2 件 1日 火災 (60年)	9.7 回 1日 救急車出動 (60年)
487 人 外国人 (61年1月1日)	111,625 人 生産年齢人口 (15才～64才) (61年1月)	110 人 市民 市職員 (61年)	三多摩26市のなかで 5 位 6 位 8 位 3 位 8 位 面積 人口(61年1月) 世帯(61年1月) 工業出荷額(60年) 商業販売額(60年)	

市歌「みどりのまち」

昭和58年1月1日制定

1. みどりの街を わが日野と 日野市中学校教育研究会
ほこれる胸の 豊かさよ 音楽部会・作詞・作曲
恵みの幸を 踏みしめて
あしたに生きる 日野のわれら

2. 平和を思うひとびとの
確かな声は 満ち満ちて
心にかよう ぬくもりを
手と手でつなぐ 日野のわれら

3. 脈うつ多摩の 水音に
思い出たどる なつかしさ
流れが清く あるように
願いは同じ 日野のわれら



市の鳥「カワセミ」昭和58年9月12日制定



市の花「きく」昭和48年11月3日制定

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和57年10月8日議決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつてしても、もはやその拡大を止められない事態となっている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。

日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。



市の木「かし」昭和48年11月3日制定

日野市市勢要覧1987年版

発行 日野市企画財政部広報課
東京都日野市神明1-12-1
0425 (85) 1111(代)

制作 大日本印刷株式会社

1987年1月



市章

昭和38年11月3日制定

日野市の市章は、日野の日の字を丸くして、
炎の如く燃えさかり発展する様を象徴している。